

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立松島小学校（徳島県）

【取組内容】 本校のGIGA環境に沿った情報活用能力の育成

本校での使用頻度が高い学習アプリにおけるスキルやアプリ内で作成したカードを活用したプレゼンテーション力など6項目でICTスキル習得体系表を作成し、学校で足並みをそろえた体系的な指導を行いました。また、年度初めと年度終わりにスキル調査によって情報活用能力のスキルの部分を確認しています。

松島小学校ICTスキル習得体系表

分類	1年	2年	3年	4年	5年	6年
カード	カードを作った文字を手書きで入力できる。 カードをつなげて送ったり、提出したりすることができる。	カードを見やすいように文字の大きさや太さに気をつけて作成することができる。	を使って話し合い活動のまとめを作ることができる。	カードを見やすいように文字の大きさや太さ、色に気をつけて作成することができる。	カードを見やすいように縦書きや横書きを用いて作成することができる。	カードを見やすいように縦書きや横書きを用いて作成することができる。
写真・動画	自分で写真を撮影してカードにすることができる。 自分の演奏や舞姿を録音することができる。	写真にカードを追加したり、画像書き込みしたりすることで説明や紹介ができる。	写真・動画とカードを組み合わせて、伝えたいことをまとめることができる。	動画を必要な長さに合わせて編集することができる。	動画をスローモーションで編集することができる。	写真や動画を適切なフォーマット形式で書き出すことができる。
文字入力	ローマ字表を見てキーの読み方と位置を覚える。	ローマ字表を見てホームポジションから正しい指使いでタイピングすることができる。	キーボードを使って大文字、小文字、全半角、漢字を含む文字を入力することができる。	正しい指使いで80wpm、正タイプ率80%を達成することができる。	正しい指使いで100wpm、正タイプ率85%を達成することができる。	正しい指使いで120wpm、正タイプ率90%を達成することができる。
分類整理力	カードやイラストを教師が設定したジャンルや項目によって分類することができる。	教職員が設定したシンキングツールを使って自分が入力したカードを分類することができる。	シンキングツールを自分で選び、分類の拠点を表記し、分類することができる。	教師の指示に沿って様々なシンキングツールの使い方に慣れ、思考スキルとシンキングツールの対応を理解する。	教職員が提示した思考スキルからシンキングツールを用いて自分の考えを分類整理できる。	学習のめあてに沿った思考スキルを考えて、自分で選択したシンキングツールを用いて自分の考えを分類整理できる。
プレゼンテーション力	自分の作ったカード（絵や写真）の内容を説明することができる。	自分の作ったカード（絵や写真）を発表者ツールを使って画面で説明することができる。	自分で描いた絵や自分で撮った写真を文字を入力したものをつなげて発表することができる。	自分がインターネットで収集してきた情報を文字の数や写真の枚数に気をつけて、見やすいカードにまとめて発表することができる。	自分がアンケートやテストで収集してきた情報をカードにまとめ、発表することができる。	自分が収集してきた情報を分かりやすい文字数で図や写真、グラフを用いてカードにまとめ、発表することができる。
情報収集力	教職員のサポートを受けながら、インターネットで自分の必要とするイラストや写真をコピーしてノートに貼ることができる。	自分でインターネットから必要とするイラストや写真をコピーしてノートに貼ることができる。	自分が必要な情報をインターネットで検索し、Webページからカードへコピー＆ペーストをすることができる。	自分が必要な情報をインターネットで検索し、書いてある内容から抜粋や要約をしてカードを作成することができる。	アンケートやテストを使って情報を収集することができる。	アンケートやテストを使って情報を収集し、グラフにすることができる。

学習アプリ

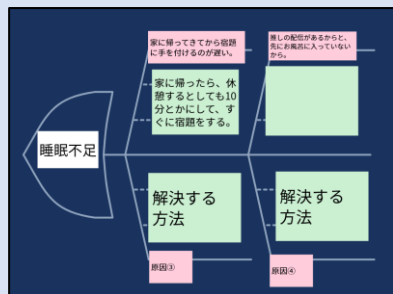
ICT
スキル
調査情報活用能力の
知識・技能に
あたるスキルを
調査しています。

① シャリンと動画をつけて自分のじこしょうかいカードをつくってください。（5分）

名前

○ すきな食べ物の シャリン ○ すきなわけ どうが

③ インターネットから「梅雨」という言葉のいみをさがして、ここにはってください。（5分）



朝の時間を使って、ICT担当の教員と一緒にGIGA端末を活用したシンキングツールの使い方や新しいアプリ、モラル教育といった内容について学習しています。